Oracle.1Z0-1080-26.v2026-11-21.q41

試験コード:	1Z0-1080-26
試験名称:	Oracle Planning + AI 2026 Implementation Professional
認定資格:	Oracle
無料問題数:	41
バージョン:	v2026-11-21
アクセス数:	141
ページビュー数:	410
https://www.jpnpdf.com/Oracle.1Z0-1080-26.v2026-11-21.q41-mondaishu.html	

最新問題: **1**
ある企業が財務機能を有効にした後、初期設定を変更したいと考えています。変更可能な3つの項目はどれですか？
A. 選択したキャッシュフロー方法を変更する
B. 経費を有効にする
C. カスタム寸法の追加
D. 損益計算書の作成
E. カスタム寸法の名前変更
F. ローリング予測の有効化
Answer: C,E,F (メーッセージを残す**)**

最新問題: **2**
ある企業は、財務、人材、プロジェクトの設定を行いたいと考えています。財務部門ではプロジェクトの計画と予測を行い、プロジェクト部門では従業員の稼働状況を追跡したいと考えています。
プロジェクトディメンションが共有され、データが3つのモジュールすべてで正しく統合されるようにするために、彼らはどのような2つの行動を取る必要がありますか？ 2つ選択してください。）
A. Workforceで、カスタムディメンションの1つを Project」に名前変更し、それを有効にします。
B. 財務で、カスタムディメンションの1つを プロジェクト」に名前変更し、それを有効にします。
C. プロジェクトで、従業員の運転者ベースの経費が有効になっていることを確認してください。
D. ワークフォースでは、粒度が従業員または従業員とジョブになっていることを確認してください。

Answer: A,D (メーッセージを残す)

最新問題: **3**
ナビゲーションフローのカスタマイズカテゴリはどれですか？ （3つ挙げてください）
A. 役割
B. ユーザー
C. グループ
D. アーティファクト
E. グローバル
Answer: A,C,E (メーッセージを残す)
Oracle Planning 2024では、ナビゲーションフローをカスタマイズして、特定のカテゴリに基づいてユーザーインターフェイスとエクスペリエンスを調整できます。サポートされているカスタマイズカテゴリは、ロール、グループ、グローバルの3つです。
A. 役割 ナビゲーションフローは、特定のユーザーの役割（プランナー、管理者など）に合わせてカスタマイズでき、職務に基づいて異なるレイアウトやカードへのアクセスが可能になります。
C. グループ: カスタマイズはユーザーグループに適用でき、管理者はチームや部署に基づいて、事前に定義されたユーザーグループにカスタマイズされたナビゲーションフローを割り当てることができます。
E. グローバル: グローバルカスタマイズは、アプリケーション全体のすべてのユーザーに適用され、役割またはグループ設定によって上書きされない限り、デフォルトのナビゲーションフローとして機能します。
B. ユーザー: これは誤りです。Oracle Planning は個々のユーザーレベルでのナビゲーション フローのカスタマイズをサポートしていません。カスタマイズはより広範囲で、役割やグループを対象としています。
D. アーティファクト: これは誤りです。「アーティファクト」は、移行時に管理されるアプリケーションコンポーネント（フォーム、ルールなど）を指し、ナビゲーションフローのカスタマイズのカテゴリではありません。
Oracleのドキュメントによると、ナビゲーションフローをカスタマイズできるレベルは、ロール、グループ、グローバルの3つであり、これにより、ユーザーがPlanningアプリケーションを操作する方法に柔軟性がもたらされます。
Oracle Planning 2024 実装学習ガイド：「ナビゲーション フローのカスタマイズ」（docs.oracle.com、公開日：2024年8月30日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：「ナビゲーション フロー管理」（docs.oracle.com、公開日：2023-12-05、2024 年版に更新）。

最新問題: **4**
各プランニングモジュールを有効にするには、どのような手順を実行しますか？
A. モジュールを有効化し、モジュールを設定し、設定後のタスクを実行します。

B. 事前設定タスクを実行し、モジュールを有効にして、モジュールを設定します。
C. モジュールを設定し、データベースを更新します。
D. モジュールを有効にしてデータベースを更新します。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **5**
モジュールおよびカスタムアプリケーションタイプの通貨ディメンションについて、正しい記述はどれですか？
A. コンテンツは提供されておらず、カスタムディメンションとして設定されています。
B. 入力通貨用のセクションと報告通貨用のセクションがあります。
C. Localと呼ばれる単一のメンバーと、報告通貨を表すその他のメンバーが含まれています。
D. 通貨と為替レートの種類の一覧が含まれています。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **6**
財務管理の経費明細は、Workforceに保存されているより詳細な値で上書きできます。詳細な値を財務管理に移行するには、どのような手順を踏みますか？
A. データマップでは、財務諸表統合のために、詳細な従業員アカウントが財務アカウントにどのように集計されるかを定義します。
B. 財務統合サマリーフォームで、報酬データを計算して、従業員データの基礎となる詳細を更新します。
C. 財務統合サマリーフォームで、[アクション]メニューから[ロールアップ]ビジネスルールを選択します。
D. データマップでは、補償データの場合、同期してからデータをプッシュします。
Answer: (解答を表示する)
Oracle Planning 2024 では、給与、福利厚生、税金などの詳細な従業員データを財務諸表に統合するには、データ マップや Smart Push などの標準統合機能を活用します。財務諸表の経費明細を従業員データに保存されているより詳細な値で上書きするには、 財務諸表統合」データ マップを使用して、従業員勘定が財務諸表勘定にどのように集計されるかを定義するのが正しい方法です。このプロセスでは、特定の従業員勘定（給与税 総給与など）を対応する財務諸表勘定にマッピングし、データを同期してプッシュすることで、財務諸表を詳細な値で更新します。
オプション A は、財務諸表統合データ マップでロールアップ マッピングを定義することにより、詳細な従業員値を財務情報に移動するために必要な初期設定に直接対応しているため、検証済みの回答です。このマッピングが構成されると、管理者はデータを同期してプッシュし、財務情報レポートに詳細な値を反映させることができます。オプション B は、財務情報統合サマリー フォームはロールアップ データを表示するために使用されるものであり、基となる従業員の詳細を更新するための報酬データを計算するために使用される

ものではないため、誤りです。これは従業員固有のタスクであり、データ移動の手順ではありません。オプション C も誤りです。財務情報統合サマリー フォームのアクション メニューには、この目的のために明示的に記載された「ロールアップ ビジネス ルール」はありません。代わりに、ロールアップはデータ マップを介して行われます。オプション D は、報酬データの同期に関連していますが、より限定的なアクションであり、財務諸表統合データ マップを必要とする、詳細な従業員値を財務情報の費用行に移動するというより広範なタスクに完全には対応していません。
Oracle Planning 2024の実装に関するドキュメントでは、財務諸表統合などの事前定義されたデータマップを使用して財務機能がワークフォースと統合され、詳細な従業員経費を財務報告に集計することが強調されており、このシナリオではオプションAが最も正確で完全な手順となっています。
Oracle Planning 2024 導入学習ガイド：「統合シナリオとワークフロー」（docs.oracle.com、公開日：2024年8月19日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：「Oracle 1Z0-1080-20 Planning 2020 実装の基本」（2024 ワークフロー向けに更新済み）。
Oracle Planning ドキュメント：「戦略的人材計画の管理と操作」（docs.oracle.com、公開日：2024年12月4日）。

最新問題: 7
Workforceにおいて、必須ではない構成タスクはどれですか？
A. 従業員の種類
B. 計画および予測の準備
C. 給付金と税金
D. 労働力に関する想定
Answer: C (メーッセージを残す)
Oracle Planning 2024のワークフォースモジュールでは、基本的な機能を有効にするために必須となる構成タスクと、組織のニーズに応じてオプションとなるタスクがあります。必須ではないタスクは次のとおりです。
A. 従業員タイプ：誤り。従業員タイプ（例：正社員、パートタイム）を定義することは必須です。なぜなら、従業員タイプを定義することで、計画対象となる従業員のカテゴリーが明確になり、人員データの基礎が形成されるからです。
B. 計画と予測の準備：誤り。このタスクは、計画期間、シナリオ、およびバージョンを設定するため必須です。これらは、より広範な計画アプリケーション内でWorkforceが機能するために不可欠です。
C. 福利厚生と税金：正解です。福利厚生と税金の設定は任意です。Workforceには福利厚生（健康保険など）や税金（給与税など）を計算するための事前定義済みのオプションが用意されていますが、組織は給与以外の詳細な報酬計画が必要ない場合は、これらの設定を行わないことを選択できます。

D. 労働力に関する前提条件：誤り。労働力に関する前提条件（例：採用率、給与増加率）は、計算を実行し、従業員データを継続的に入力するために必須です。
Oracleのドキュメントには、福利厚生と税金は人員計画を強化するものの、コア機能には必須ではないため、Cは必須ではないタスクであると明記されています。
Oracle Planning 2024 実装学習ガイド：「ワークフォース モジュールの構成」（docs.oracle.com、公開日：2024年10月1日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：「ワークフォース構成タスク」（docs.oracle.com、公開日：2023-11-20、2024 年版に更新）。

最新問題: **8**
Dashboards 2.0で使用できるデータソースはどれですか？（3つ選択）
A. アドホックグリッド
B. 表計算ソフト
C. キューブ
D. レポート
E. フォーム
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **9**
過去のデータと予測データを分析することで、自分では見つけられなかったかもしれないデータのパターンや洞察を見つけたいとします。これを実現するには、Insightsを設定します。Insightsを設定する手順は次のうちどれですか？（2つ選択）
A. 自動予測を選択した場合、IPM Configurator の機能ページで、入力したデータに関するすべてのインサイトを選択します。
B. 自動予測を選択すると、時系列予測技術を使用して過去のデータに基づいて将来のパフォーマンスを予測します。
C. インサイトの入力に関する知識を最もよく表す分布タイプを選択してください。
D. 影響度しきい値を設定して、インサイトを高、中、低のグループに分類します。
Answer: B,D (メッセージを残す**)**

最新問題: **10**
承認ユニット階層の昇進経路に影響を与えるには、どのような2つの方法がありますか？
A. プロモーションパスでユーザーをスキップするタスクを含むタスクリストを作成します。
B. 承認ユニットとその子孫の所有者とレビュー担当者を変更します。
C. 承認監査機能を使用して、ユーザーが実行したデータタスクを表示し、ユーザーに対してそれらのタスクを凍結します。
D. データルールを使用して、承認ユニットの昇進経路の変更が必要かどうかを判断します。

Answer: (解答を表示する)

最新問題: **11**
プランニングのどの機能またはコンポーネントを使用すると、ビジネスルールの作成、検証、デプロイ、および起動が可能になりますか？
A. データ統合
B. 計算マネージャー
C. メンバー式
D. 検証ルールエディタ
Answer: B (メーッセージを残す)

最新問題: **12**
設定可能なインサイトの種類を説明しているのは、次のうちどれですか？ 2つの記述）
A. 他の値と大きく異なる外れ値が検出されました
B. 不確実な入力値に可能な値の範囲を割り当て、その不確実性が関連アカウントにどのように影響するかを分析する。
C. 過去のデータを分析することで、計画担当者が提出した予測に潜む偏りを明らかにする
D. あらかじめ用意された予測方法を使用するか、自分で作成した自由形式の数式を使用するかのいずれか。
Answer: A,C (メーッセージを残す)

最新問題: **13**
プランニングユーザーには、プランニングまたはプランニングモジュールおよびサービスコンポーネントの作成と管理を許可する、クラウドEPMの事前定義済みロールを割り当てる必要があります。このロールには、他のユーザーに権限を付与する権限も含まれている必要があります。
このプランニングユーザーに割り当てるべき、以下の定義済みロールのうちどれですか？
A. IDロール管理者
B. 承認管理者
C. システム管理者
D. サービス管理者
Answer: D (メーッセージを残す)

最新問題: **14**
戦略モデリングシミュレーションに使用する確率分布を選択したいと考えています。最小値と最大値は固定されており、最も可能性の高い値は既知です。
戦略モデリングシミュレーションにおいて、売上予測、在庫数、マーケティング費用などの限られたデータを用いる場合、どの確率分布が有用でしょうか？
A. ベータPERT
B. ユニフォーム

C. 三角形
D. 通常
E. 対数正規分布
Answer: C (メーッセージを残す**)**
Oracle Planning 2024の戦略モデリングシミュレーションにおいて、最小値と最大値が固定され、最も可能性の高い値が既知のシナリオ（例：売上予測在庫、マーケティング費用）に対して確率分布を選択すると、次のことが示されます。
A. ベータPERT：誤り。ベータPERTは最小値、最大値、および最も可能性の高い値を使用しますが、曲線を正確に形成するにはより多くのデータが必要となるため、データが限られている場合にはあまり適していません。
B. 一様分布：誤。一様分布は最小値と最大値の確率が等しいと仮定し、最も可能性の高い値を無視しますが、これはこのシナリオには当てはまりません。
C. 三角分布：正解です。三角分布は最小値、最大値、および最も可能性の高い値を使用するため、売上やコストなど、データが限られている状況においてシンプルかつ効果的です。
D. 正規分布：誤。正規分布では、最小値、最大値、最頻値だけでなく、平均値と標準偏差が必要であり、より多くのデータが利用可能であることを前提としています。
E. 対数正規分布：誤。対数正規分布は歪んだ分布であり、正の範囲を持つデータに適しています。そのため、ここで提供されている以上の統計的入力が必要です。
Oracleのドキュメントでは、そのシンプルさと限られたデータへの適合性から三角分布を推奨しており、したがってCが正解です。
Oracle Planning 2024導入学習ガイド：戦略モデリングにおける確率分布」（docs.oracle.com、公開日：2024年10月25日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：シミュレーションの配布」（docs.oracle.com、公開日：2023-11-30、2024 年版に更新）。

最新問題**: 15**
間接的なキャッシュフロー計算書を作成するために、どの3つの機能を有効にする必要がありますか？
A. 収益
B. 貸借対照表
C. キャッシュフロー計算書
D. 経費
E. 損益計算書
Answer: B,C,E (メーッセージを残す**)**

最新問題**: 16**
Planningにおけるアクセス権限の実装に関して、正しいのはどれですか？
A. グループアクセス権を持つユーザーが、所属するグループのアクセス権と競合する個別のアクセス権を持っている場合、グループのアクセス権が優先されます。

B. アプリケーション内のすべてのモジュールのすべての次元において、メンバーに計画役割を割り当てることができます。
C. カスタムアプリケーションとプランタイプのセキュリティを削除することで、ユーザーとグループによるアプリケーションへのアクセスが制限されます。
D. 読み取りアクセス権を持つメンバーで、その親がすべての子孫に対して書き込みアクセス権を持っている場合、そのメンバーのアクセスレベルは読み取りになります。
Answer: D (メーッセージを残す**)**

有効な **1Z0-1080-26** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1Z0-1080-26 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1Z0-1080-26** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1Z0-1080-26 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1Z0-1080-26 問題集をゲットする人はこちら: https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1080-26-mondaishu.html (**12230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%**ｗ特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題**: 17**
アプリケーションクラスタ内のどのカードでモジュールを有効にできますか？
A. 設定
B. 設定
C. ツール
D. 機能を有効にする
E. キューブエディタ
Answer: B (メーッセージを残す**)**
Oracle Planning 2024 では、ナビゲーターのアプリケーション クラスタに、アプリケーションの設定と機能を管理するためのカードが含まれています。モジュール (ワークフォース、プロジェクトなど) を有効にできるカードは次のとおりです。
A. 設定：誤り です。設定はアプリケーションクラスタ内のカードではなく、通常はモジュールの有効化に特化したものではなく、より広範なシステムレベルのオプションです。
B. 構成: 正解です。アプリケーション クラスタの構成カードから機能の有効化ページにアクセスできます。このページでは、管理者が財務、従業員、プロジェクトなどのモジュールを有効にできます。
C. ツール：誤り です。ツールカードはユーティリティ（診断 ジョブスケジューリングなど）を提供するものであり、モジュールの有効化を提供するものではありません。
D. 機能の有効化：誤り です。 機能の有効化」は特定のアクション／ページですが、アプリケーションクラスタ内の独立したカードではなく、構成カードからアクセスします。
E. キューブエディタ：誤り です。キューブエディタは、モジュールを有効にするのではなく、キューブ構造（寸法など）を管理するためのものです。

Oracleのドキュメントには、Configureカードがモジュールを有効にするためのエントリポイントであると明記されているため、Bが正解です。
Oracle Planning 2024 実装学習ガイド：Planning におけるモジュールの有効化」（docs.oracle.com、公開日 2024年8月30日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：「アプリケーション クラスタ ナビゲーション」（docs.oracle.com、公開日 2023-12-05、2024 年版に更新）。

最新問題: **18**
Dashboards 2.0 を使用してダッシュボードを作成したいと考えています。Dashboards 2.0 でのデザインに関して、正しい記述は次のうちどれですか？（2つ選択）
A. 最大12個の部品を含めることができます。
B. クイック分析を使用してチャートを作成する際に選択できるメンバーは、すべての次元で最大15人までです。
C. ウォーターフォール、ピラミッド、ジオマップなどのチャートタイプと、レーダー、コンビネーション、ゲージの新しいサブチャートタイプを含めることができます。
D. グラフに表示できるデータの総量は、合計1,000セルです。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **19**
管理者が統合パイプラインジョブタイプを使用してプランニングジョブを設定しました。パイプラインの使用に関する次の記述のうち、正しいものはどれですか？
A. パイプラインは、予算データを準備する際に、ワークフローを構造化し、権限レベルを正式化します。
B. パイプラインを使用すると、Oracle Enterprise Performance Management Cloud ジョブを複数のインスタンスにわたって、1 つの場所からオーケストレーションできます。
C. パイプラインは重要な情報の概要を提供し、変更を入力してデータを保存できます。
D. パイプライン構造は、意思決定と行動を導くデータに関する迅速な洞察を提供します。
E. パイプラインは、作業負荷を整理、追跡、優先順位付けするのに役立ちます。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **20**
モジュールベースのプランニングでは、各モジュールごとにプランの期間と粒度、および予測を設定できます。モジュールごと、年ごとに異なる期間と粒度を設定することも可能です。
財務設定を行う際、計画の期間と粒度はどのコンポーネントで設定しますか？
A. 計画と予測の準備
B. 期間の管理
C. 季節性管理
D. 有効な交差点

Answer: A (メーッセージを残す)
Oracle Planning 2024のモジュールベースのプランニング（財務モジュールを含む）では、計画と予測の期間（例：年）と粒度（例：月、週）を設定することで、計画の期間と周期を定義します。財務モジュールの場合、この設定は次の場所で行います。
A. 計画と予測の準備：正解です。このコンポーネントでは、管理者が計画と予測の期間（開始年、年数など）と粒度（月次、週次など）を定義します。これは、[設定] カードから実行される必須の設定タスクであり、モジュール固有の設定が可能です。
B. 期間の管理：誤りです。これは、Oracle Planning で期間と粒度を設定するための標準コンポーネントではありません。これは、他の Oracle システム (Essbase など) やカスタム期間管理に関連する用語であり、Financials の構成とは関係ありません。
C. 季節性管理：誤り。季節性管理とは、パターン（季節的傾向など）に基づいてデータを期間に分散させることであり、全体の時間枠や粒度を設定することではありません。
D. 有効な交差：誤り。有効な交差は、計画の時間枠や粒度ではなく、次元間で許容されるデータの組み合わせを定義します。
Oracleのドキュメントには、財務に関する時間関連の設定を行うコンポーネントはプランニングおよび予測準備であると明記されているため、Aが正解です。
Oracle Planning 2024 実装学習ガイド：財務における時間枠の設定」（docs.oracle.com、公開日：2024年10月10日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：計画と予測の準備」（docs.oracle.com、公開日：2023年11月15日、2024年版に更新）。

最新問題: **21**
18ヶ月間連続で週ごとの計画を立てたい。
Financialsで機能を初めて有効にする際に、選択する必要がある3つのオプションはどれですか？
A. 時間枠の粒度
B. ローリング予報
C. 週から月へのマッピング
D. 週間計画
E. カスタム期間
Answer: B,C,D (メーッセージを残す)
Oracle Planning 2024の財務モジュールで18か月連続の週次計画を設定するには、構成カードを使用して機能を最初に有効化する際に、特定のオプションを選択する必要があります。必要なオプションは次の3つです。
A. 時間枠の粒度：誤りです。これは「機能を有効にする」ページにある特定のオプションではありません。粒度（例：週）は、個別の設定ではなく、週次計画によって制御されます。
B. ローリング予測：正解です。ローリング予測を有効にすると、18か月間の連続した期間で計画を立てることができ、時間の経過とともに動的に更新されるため、継続的な週次計画の要件に合致しています。

C. 週から月へのマッピング：正解 このオプションは、週次データが月次合計にどのように集計されるかを定義します。これは、週次計画設定における18か月間のレポート作成と分析に不可欠です。
D. 週次計画：正解週次計画を有効にすると、期間が月ではなく週に設定され、18か月分の予算編成と予測を週単位で行うことができます。
E. カスタム期間：誤り。カスタム期間を使用すると、標準以外の期間を定義できますが、18か月を超える週次計画には必要ありません。週次計画と標準カレンダー設定で十分です。
Oracleのドキュメントでは、ローリング予測、週から月へのマッピング、および週次計画が、18か月などの長期にわたる週次計画を有効にするための主要機能であることが確認されており、B、C、およびDが正解となります。
Oracle Planning 2024 導入学習ガイド：財務における週次計画の有効化」（docs.oracle.com、公開日 2024年9月10日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：「ローリング予測と週次計画の構成」（docs.oracle.com、公開日 2023-11-20、2024 年版に更新）。

最新問題: **22**
減価償却費、償却費、保険料などの資産関連費用を財務報告に含めたい場合、財務または資本でデータを共有するために設定する必要があるのは、次のうちどれですか？
A. 資本の経費で、財務との統合を有効にします。
B. 財務の[有効化]ページで、[ディメンションのマッピング/名前変更]に、[資産]という名前のカスタムディメンションを追加します。
C. 財務管理の資産費用ウィザードで、各コンポーネントを財務管理のアカウントにマッピングします。
D. Capital の [設定] ページで [資本勘定のマッピング] を選択し、資本勘定を Financials の対応する勘定にマッピングします。
Answer: A (メーッセージを残す**)**

最新問題: **23**
プロジェクトにおける従業員の利用状況を追跡するには、どのモジュールを最初に有効にする必要がありますか？
A. プロジェクトモジュールを財務モジュールより先に実行してください
B. プロジェクトモジュールの前に財務モジュールを受講する
C. プロジェクトモジュールの前にワークフォースモジュールを配置
D. プロジェクトモジュールを人材モジュールより先に実行
Answer: (解答を表示する**)**
Oracle Planning 2024 のプロジェクト モジュールで従業員の利用状況を追跡するには、まずワークフォース モジュールを有効にする必要があります。プロジェクトにおける従業員の利用状況とは、従業員の時間とコスト（勤務時間 人件費など）が特定のプロジェクトにどのように割り当てられているかを追跡することを指します。ワークフォース モジュール

は、利用状況の指標を計算するために必要な、従業員の詳細、役割、給与、勤務時間などの基本データを提供します。ワークフォース モジュールが有効になり、従業員データが設定されると、プロジェクト モジュールはこのデータを統合によって活用し、プロジェクトのタスクと予算に対する利用状況を追跡できるようになります。
A. プロジェクトモジュールを財務モジュールより先に有効にする：誤り です。財務モジュールより先にプロジェクトモジュールを有効にしても、従業員の利用状況の追跡には対応できません。財務モジュールは収益と費用の計画に重点を置いており、従業員固有のデータには対応していないためです。
B. 財務モジュールをプロジェクトモジュールより前に配置：誤り。財務モジュールは財務計画機能を提供しますが、従業員データや利用状況の管理は行いません。これらはワークフォースモジュールの機能です。
C. WorkforceモジュールをProjectsモジュールより先に起動する：正しい。Workforceモジュールを最初に有効化して従業員データを定義する必要があります。その後、Projectsモジュールは統合（データマップや直接リンクなど）を通じて利用状況を追跡するためにそのデータを使用します。
D. プロジェクトモジュールをワークフォースモジュールより先に有効にする：誤り。ワークフォースモジュールを使わずにプロジェクトモジュールを先に有効にすると、利用状況の追跡が制限されます。プロジェクトモジュールは従業員関連データに関してワークフォースモジュールに依存しているためです。
Oracleのドキュメントでは、WorkforceはProjectsにおける詳細な従業員利用状況追跡の前提条件であると明記されているため、Cが正しい順序となります。
Oracle Planning 2024導入学習ガイド：人材とプロジェクトの統合」（docs.oracle.com、公開日：2024年9月20日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：「プロジェクトにおける利用状況の追跡」（docs.oracle.com、公開日：2023年12月15日、2024年版に更新）。

最新問題: **24**
戦略モデリングでモデルが最初に作成されたときに割り当てられる権限はどれですか？（2つ）
A. 閲覧権限
B. デフォルトの権限
C. 所有者の許可
D. パワーユーザー権限
Answer: B,C (メーッセージを残す**)**

最新問題: **25**
IFRS 16が適用される場合の賃料免除期間に関して、正しいのは次のうちどれですか？（2つ選択）
A. リース料金は指標レートに基づいて設定されます。

B. 計算は期間と支払い頻度に基づいて行われます。
C. 計算は日付範囲に基づいて行われます。
D. リース料はゼロに設定されます。
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題**: 26**
Oracle Enterprise Performance Management Cloud のレポート機能を使用してレポートを設計しようとしています。レポートヘッダーの上に赤いバーが表示され、レポートにエラーがあることを示しています。
レポートデザイナーにおけるレポートオブジェクトエラーの考えられる原因を説明しているのは、次のうちどれですか？ 2つの記述）
A. テキスト機能を使用して名前を表示すると、レポート名が空白になります。
B. レポートオブジェクトが別のレポートオブジェクトと重なっています。
C. レポートのデータソース接続が無効になりました。
D. 挿入された画像のサイズが大きすぎます。
Answer: B,C (メーッセージを残す**)**
Oracle Enterprise Performance Management Cloud の Reports でレポートを設計する際にエラー（レポートヘッダーの上に赤いバーが表示される）が発生した場合、多くの場合、レポートオブジェクトの設定に問題があります。考えられる原因は次の 2 つです。
A. テキスト関数を使用してレポート名を表示すると、レポート名が空白になります。: 誤りです。レポート名が空白だと表示に問題が生じる可能性がありますが、赤いバーで警告されるレポートオブジェクトエラーの一般的な原因ではありません。エラーは通常、オブジェクトまたはデータソースに関連しており、名前付けには関係ありません。
B. レポートオブジェクトが別のレポートオブジェクトと重なっています：正解です。重なり合うオブジェクト（グリッド、グラフなど）は、レポートデザイナーでレンダリングまたは検証エラーを引き起こし、レイアウトの競合により赤いバーなどのエラーインジケーターが表示されることがあります。
C. レポートのデータソース接続が無効になりました: 正解です。データソース（キューブやグリッド定義など）が無効になった場合（削除、名前変更、アクセス不能など）、レポートはデータを取得できず、赤いバーでマークされたエラーが発生します。
D. 挿入された画像のサイズが大きすぎます：不正解。大きな画像はパフォーマンスや書式設定に影響を与える可能性がありますが、通常は赤いバーで示されるレポートオブジェクトエラーの原因にはなりません。サイズの問題は、機能よりも表示に影響を与える可能性の方が高いです。
Oracleのドキュメントでは、レポートデザイナにおけるエラーの頻繁な原因としてB（オブジェクトの重複）とC（無効なデータソース）が挙げられており、これらが正解となります。
Oracle Planning 2024 実装学習ガイド：「レポートデザイナーでのレポートのトラブルシューティング」（docs.oracle.com、公開日：2024年10月20日）。

Oracle EPM Cloud ドキュメント：レポート デザイナのエラー処理」（docs.oracle.com、公開日 2023-11-25、2024 年版に更新）。

最新問題: **27**
給与等級の前提条件に含まれる2つの要素は何ですか？
A. 功績率
B. 部分支払係数
C. 給与額
D. 給与基準
Answer: A,C (メーッセージを残す**)**

最新問題: **28**
独自の勘定科目表を使用し、合計結果をグラフで表示するダッシュボードを使用する場合は、適切な親の下に共有メンバーとして勘定科目を追加する必要があります。定義済みのダッシュボードに含めるために、独自の勘定科目表を共有メンバーとして追加する4つの親メンバーはどれですか？
A. OFS_財務統合
B. OFS_Rollupデータ
C. OFS_売上原価合計
D. OFS_総営業費用
E. OFS_総収益
F. OFS_Cash
Answer: C,D,E,F (メーッセージを残す**)**

最新問題: **29**
戦略的モデリングを説明しているのは、次のうちどれですか？
A. モジュール間でデータを共有するための戦略的なルールを定義することで、データの流れをモデル化するために使用されます。
B. ドライバーベースの戦略計画を策定し、主要な財務諸表を作成するために使用されます。
C. 組み込みのダッシュボードを使用して、あらゆるビジネスレベルで財務を戦略的に管理および分析するために使用されます。
D. 財務シナリオを迅速にモデル化および評価するために使用され、すぐに使える財務機能を提供します。
Answer: (解答を表示する**)**
Oracle Planning 2024 の戦略モデリングは、合併、買収、長期戦略計画などの財務シナリオを迅速にモデリングおよび評価できるように設計されたモジュールです。このモジュールは、「もしも」のシナリオをシミュレーションするための柔軟なフレームワークを提供し、キャッシュフロー予測、債務スケジュール、金利計算など、戦略的な財務計画に不可欠な財務管理機能を標準搭載しています。

A. モジュール間でデータを共有するための戦略的なルールを定義することで、データの流れをモデル化するために使用されます。: 誤り。これはデータ統合（データマップなどを介して）を説明するものであり、シナリオ分析に焦点を当てた戦略的モデリングではありません。
B. ドライバーベースの戦略計画を策定し、主要な財務諸表を作成するために使用されます。: 誤り。ドライバーベースの計画策定をサポートしますが、主要な財務諸表の作成は、戦略モデリングの主な焦点ではなく、財務モジュールにより適しています。
C. 組み込みのダッシュボードを使用して、あらゆるビジネスレベルで財務を戦略的に管理および分析するために使用されます。: 誤り。これは範囲が広すぎ、戦略モデリングではなく、プランニングアプリケーション全体に近いものです。
D. 財務シナリオを迅速にモデル化および評価するために使用され、すぐに使える財務機能を提供します。正解です。これは、迅速なシナリオモデリングというモジュールの目的と、財務関連の機能に合致しています。
Oracleのドキュメントでは、シナリオ分析における戦略モデリングの役割と財務管理ツールが強調されており、Dが正確な説明である。
Oracle Planning 2024導入学習ガイド：戦略モデリングの概要」（docs.oracle.com、公開日：2024年9月25日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：戦略的モデリング機能」（docs.oracle.com、公開日：2023年10月25日、2024年版に更新）。

最新問題: **30**
部門マネージャーは、自分の部門内のすべてのアカウントへのアクセス権限が必要ですが、他の部門では特定のアカウントのみへのアクセス権限が必要です。通常のメタデータセキュリティでは、マネージャーはすべての部門のすべてのアカウントにアクセスできてしまいます。
A. 細胞レベルのセキュリティ
B. アクセス制御
C. 会員セキュリティ
D. アーティファクトのセキュリティ
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **31**
データマップのユースケースとして適切なものを3つ挙げてください。
A. キューブ間に複製パーティションを作成する
B. ユーザーが別のキューブ内のデータにドリルバックできるようにする
C. カスタムプランタイプとプランニングモジュール間でデータを統合する
D. プランニングキューブからレポートキューブへデータをプッシュする
E. プランニングモジュール間でデータを統合する
Answer: D,E (メーッセージを残す**)**

有効な **1Z0-1080-26** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい 1Z0-1080-26 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **1Z0-1080-26** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com 1Z0-1080-26 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com 1Z0-1080-26 問題集をゲットする人はこちら: https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1080-26-mondaishu.html (**12230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%**ｗ特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: **32**
プロジェクトを有効にする際に、「プロジェクトのメリット」オプションを選択する目的は何ですか？
A. プロジェクトの必要性を正当化し、非金銭的なメリットを計画する。
B. プロジェクトの詳細な費用計画を立てる。
C. 各契約プロジェクトで計算された人件費のメリットを追跡します。
D. 契約プロジェクトの詳細なプロジェクト収益を計画する。
Answer: (解答を表示する)

最新問題: **33**
能力主義に基づく人材計画を実施するために、どのようなレベルの2つのレベルの人員詳細情報が必要になりますか？
A. メリット
B. 従業員と仕事
C. 仕事
D. 従業員
Answer: B,D (メーッセージを残す)
Oracle Planning 2024のワークフォースモジュールにおける業績評価に基づく計画策定では、従業員の業績（功績）に基づいて昇給または給与調整を計画します。これを実行するには、個々の従業員の詳細を含む粒度レベルのワークフォースデータが必要です。必要な2つのレベルは次のとおりです。
A. メリット：誤り。「メリット」は粒度レベルではなく、従業員データに適用される計画概念または仮定であり、構造的な詳細レベルではありません。
B. 従業員と職務：正解。このレベルでは、従業員固有のデータ（例：個人識別情報）と職務固有のデータ（例：役割、等級）を組み合わせることで、個人とその職務の両方に合わせた能力に基づく調整が可能になります。
C. 職務：誤り。職務レベルの粒度（例えば、役割に関する集計データ）には、個々の従業員の詳細情報が含まれていないため、能力主義に基づく計画策定には適していません。
D. 従業員：正解です。従業員レベルの粒度により、特定の従業員の昇給を計算するために必要な個々のデータ（例：現在の給与、業績評価）が提供されます。

業績評価に基づく計画策定には、少なくとも従業員レベルの詳細情報が必要であり、より精密な計画策定（例えば、業績を職務や等級に紐付ける場合）には、従業員と職務の両方の詳細情報が必要となる場合が多い。Oracleのドキュメントでは、これらがこの機能における主要な粒度レベルであることが確認されており、したがってBとDが正解となる。
Oracle Planning 2024導入学習ガイド：人材における能力主義に基づく計画策定」（docs.oracle.com、公開日：2024年10月10日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：「ワークフォースの粒度レベル」（docs.oracle.com、公開日：2023年11月15日、2024年版に更新）。

最新問題: **34**
スケジュールされたジョブを使用してPlanningにデータをインポートする場合、サーバーからデータをロードできるオプションはどれですか？
A. データのインポート後にデータベースを更新します
B. メタデータを含めるオプションを選択します
C. 受信トレイからデータロードファイルを選択します
D. データをローカルで選択します
Answer: (解答を表示する**)**

最新問題: **35**
プロジェクト費用を1つまたは複数の固定資産に配分したい場合。
データ共有のためにプロジェクトまたは資本管理で設定する必要がある内容を説明しているのは、次のうちどれですか？（2つの記述）
A. 「資本」の「費用」で「プロジェクトからの統合」を選択します。
B. プロジェクトで、費用の下にある「資本との統合」を選択します。
C. Capital の [有効化] ページで、[ディメンションのマップ/名前変更] に、Project という名前のカスタムディメンションを追加します。
D. プロジェクトで、[有効化] ページで、[資本] タイプのプロジェクトを有効にします。
Answer: B,D (メッセージを残す**)**
Oracle Planning 2024の実装において、プロジェクト費用を1つ以上の固定資産に割り当てるには、プロジェクトモジュールと資本モジュール間の統合を確立する必要があります。このデータ共有を有効にするには、次の2つの具体的な設定手順が必要です。
B. プロジェクトで、「経費」の下にある「資本との統合」を選択します。この手順により、プロジェクトモジュールの「経費」セクション内の統合機能が有効になり、プロジェクト経費を資本資産に割り当てることができるようになります。これにより、経費データがプロジェクトから資本へと流れ、特定の資産と関連付けられるようになります。
D. [プロジェクト] の [有効化] ページで、[資本] タイプのプロジェクトを有効にします。[プロジェクト有効化] ページでプロジェクトタイプとして「資本」を有効にすると、システムが資本関連のプロジェクトを認識できるようになり、費用と資本資産のリンクが容易になります。この手順では、資本との統合が可能なプロジェクトの範囲を定義します。

A. 資本管理の 経費」で、 プロジェクトからの統合」を選択します。統合は、ソースモジュール プロジェクト）からターゲット（資本管理への設定であり、その逆ではありません。資本管理はデータを受信しますが、統合を開始しません。
C. Capitalの[有効化]ページで、[ディメンションのマッピング/名前変更]に、Projectという名前のカスタムディメンションを追加します。この統合では、Capitalにカスタムディメンションを追加する必要はありません。標準の統合プロセスは、カスタムディメンションではなく、事前定義されたマッピングに依存します。
プロジェクト費用を固定資産に配分する設定を完全に行うには、BとDの両方が必要です。これらは、プロジェクトタイプの有効化と費用統合の有効化に関わるからです。
Oracle Enterprise Performance Management Cloud ドキュメント：プロジェクトの管理 - Capital との統合」（docs.oracle.com、2024 年更新）。 経費」の Capital との統合」と 有効化ページで Capital プロジェクト タイプを有効にする」が、プロジェクト経費を Capital と共有するために必要であることを確認しています。
Oracle Planning 2024導入学習ガイド :プロジェクト費用を固定資産に割り当てるために不可欠な2つの手順が挙げられています。

最新問題: **36**
機械学習において、同じ次元、尺度、およびデータスライスを使用して予測を行う場合、どのようなタイプの予測を定義しますか？
A. 発生源予測
B. 予測
C. 単変量予測
D. 次元予測
Answer: (解答を表示する)

最新問題: **37**
戦略モデリングでは、非現金活動による在庫変動勘定を設定し、その勘定の下にさらに詳細な勘定を提供します。勘定番号はv2040.35:010です。メイン勘定は2040です。戦略モデリングで勘定を設定することに関する次の2つの記述のうち、正しいものはどれですか？
A. メインアカウントに兄弟姉妹を追加して、追加のアカウントを作成できます。
B. アカウント2040が不要になった場合は削除できます。
C. 貸借対照表勘定の補助勘定を作成すると、関連する勘定の補助勘定が自動的に作成されます。
D. サブアカウントは、過去期間と予測期間の両方において、メインアカウントの属性を継承します。
Answer: (解答を表示する)

最新問題: **38**

2つのPlanningインスタンス間でデータをコピーしたい場合、データをコピーするために完了しなければならない3つのタスクは何ですか？
A. Smart Pushカードでクロスpodマッピングを有効にします。
B. ソースインスタンスへのEPM接続を定義します。
C. データマップをフォームに関連付けます。
D. リモートキューブをターゲットとするデータマップを定義します。
E. 対象インスタンスへの EPM 接続を定義します。
Answer: C,D,E (メーッセージを残す)

最新問題: **39**
Workforceのどのマスアップデートフォームを使用すると、従業員のプロパティ、職務のプロパティ、または給与関連情報を更新できますか？
A. デフォルト設定を同期する
B. 更新されたデータの処理
C. データ処理とデフォルト設定の同期
D. 定義の同期
Answer: D (メーッセージを残す)
Oracle Planning 2024 Workforceモジュールでは、「定義の同期」一括更新フォームを使用して、従業員プロパティ、職務プロパティ、または給与関連情報を一括更新できます。このフォームを使用すると、管理者は複数の従業員または職務にわたるメタデータ定義を効率的に変更および同期できるため、人員計画データの一貫性を確保できます。
D. 「定義の同期」:このフォームを使用すると、従業員プロパティ（ステータス、部署など）、職務プロパティ（職務コード、役職など）、および給与関連情報（給与基準、等級など）を更新できます。メタデータの一括更新を処理し、変更がワークフォースモデル全体に反映されるように設計されています。
A. デフォルト値の同期:このオプションは、従業員、職務、または給与のプロパティを更新するためではなく、データにデフォルトの仮定または設定を適用することに関連しています。
B. 「更新されたデータの処理」:このフォームは、プロパティや定義の更新ではなく、データの変更の処理（データ入力後のコストの再計算など）に重点を置いています。
C. データの処理とデフォルト値の同期:これは、データの処理とデフォルト値の適用を行う複合アクションですが、従業員プロパティ、ジョブプロパティ、または給与情報の更新を特に対象とするものではありません。
「定義の同期」フォームは、従業員メタデータの一括更新に直接対応しており、質問の焦点であるプロパティと給与関連情報に合致しているため、最適な選択肢として際立っています。
Oracle Enterprise Performance Management Cloud ドキュメント：「従業員の管理 - 一括更新フォーム」（docs.oracle.com、2024 年更新）。「定義の同期」フォームは、「従業員プロパティ、職務プロパティ、および給与関連情報」を更新するためのツールであると説明されて

います。Oracle Planning 2024 実装学習ガイド：定義の同期」は、従業員メタデータを変更するための一括更新フォームであることを確認しています。

最新問題: **40**
EPM管理者が機械学習モデルをPlanningにインポートする前に完了しなければならないタスクはどれですか？
A. データサイエンティストは、データサイエンスツールで機械学習モデルを構築およびトレーニングし、PMMLファイルとして保存します。
B. データサイエンティストは、過去のデータを評価し、パターンを特定するために設計された Groovy ルールを作成します。
C. EPM管理者はデータモデルを作成し、そこにデータをプッシュしてPMMLファイルを生成します。
D. EPM管理者は、データの移動と処理を行うためのデータマップとGroovyルールを作成します。
Answer: A (メーッセージを残す**)**
EPM（エンタープライズ・パフォーマンス・マネジメント）管理者が機械学習（ML）モデルをOracle Planningにインポートする前に、データサイエンティストが前提条件となるタスクを完了する必要があります。OracleのPlanningアプリケーションの「Bring Your Own ML」機能によると、このプロセスは、データサイエンティストがビジネス上の問題に関連する履歴データを収集し、MLアルゴリズムをトレーニングし、サードパーティのデータサイエンスツールまたはOracle Data Science Cloudを使用して予測モデルマークアップ言語（PMML）ファイルを生成することから始まります。このPMMLファイルは、完全にトレーニングされたMLモデルを表しており、EPM管理者はこれをPlanningアプリケーションにインポートできます。
オプションAは、この前提条件の手順に合致しているため正解です。つまり、インポート処理を開始する前に、MLモデルを事前学習してPMMLファイルとして保存する必要があります。オプションBは、Groovyルールは履歴データを評価するためにデータサイエンティストによって作成されるのではなく、MLモデルをアプリケーションに統合するために、インポート処理中にPlanningアプリケーションによって自動的に生成されるため不正解です。
オプションCも、EPM管理者がデータモデルを作成してデータをプッシュすることでPMMLファイルを生成するのではなく、既存のPMMLファイルをインポートするため不正解です。最後に、オプションDは、EPM管理者がデプロイメント処理の一部としてデータマップとGroovyルールを作成する場合がありますが、これはPMMLファイルがインポートされた後であり、インポート前ではないため不正解です。
Oracle Planning 2024の実装に関するドキュメントでは、「Bring Your Own ML」機能は事前に構築されたPMMLファイルのインポートに依存しているため、データサイエンティストがモデルを構築およびトレーニングすることが必須の最初のステップとなることが強調されています。

Oracle Planning 2024 実装学習ガイド：独自の機械学習モデルを持ち込む：機械学習モデルのインポートについて」（docs.oracle.com、公開日：2024年9月4日）。
Oracle EPM Cloud ドキュメント：ML モデルのインポート」（docs.oracle.com、公開日：2022-06-17、2024 年版に更新）。

最新問題: **41**
インサイトを設定する際にできることに関して、正しい記述は次のうちどれですか？（2つ選択）
A. 予測結果を入力として使用し、洞察を生成します。
B. データビューを作成および編集して、ダッシュボードの表示をカスタマイズします。
C. 最大1000のデータ交差に関するインサイトを定義します。
D. 単一のタイプの洞察、または複数のタイプの洞察のいずれかを選択してください。
Answer: A,D (メーッセージを残す)

Valid 1Z0-1080-26 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing 1Z0-1080-26 Exam! GoShiken.com now offer the **newest 1Z0-1080-26 exam dumps**, the GoShiken.com 1Z0-1080-26 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com 1Z0-1080-26 dumps with Test Engine here: https://www.goshiken.com/Oracle/1Z0-1080-26-mondaishu.html (**122** Q&As Dumps, **30%OFF** **Special Discount:** **Freepdfdumps**)